



グローバル時代の教育

駿台甲府の英語教育と異文化体験、6教諭と有識者が語る

学校法人駿台甲府学園（甲府市塩部2丁目、田口浩一理事長）は、児童・生徒をこれからのグローバル社会に必要な真の国際感覚と英語力を身に付けた人材に育てることを目指して、さらなる教育環境を整えている。そのためのグローバル教育の柱は、「読む・聞く・書く・話す」の英語4技能をバランスよく伸ばすことと、日本文化を再認識し、外国の文化に触れることという。そこで駿台甲府小中高ではどのように取り組んでいるのか。小中高の教員に聞いてみた。また、2021年度入試から始まる新しい大学入試制度の英語試験について駿台教育研究所（東京）事業推進部次長の渡辺正彦氏に聞いた。

楽しんで学ぶ姿勢芽生える 駿小

速読演習で「英語脳」を養う 駿中

ネイティブ教諭も受験指導 駿高

駿台甲府では児童・生徒の英語力を伸ばす取り組みが、力をつけていますか。
河崎 駿台甲府小中高では長年、ネイティブ教諭の授業を多く取り入れ、世間一般にはあまり授業に取り入れられてこなかった英語の「話す」力を伸ばしてきました。児童・生徒が英語の民間試験を積極的に受ける方針を掲げ、小中高の各レベルに即して、全員が英検やGTECを定期的に受けるようにし、英語力を伸ばすための指導にしています。
小中高各級の英語授業の特色は、また、どのような効果を感じていますか。
長澤 駿小では、1年次から英語の授業が週3時間あります。小3までは、ネイティブ教諭の授業を中心に据え、英語カードゲームをしたり、歌を歌ったりして、まずは英語を身近に感じ、話を聞いたり、書き方を身につけることに重点を置いています。小4からは英文法を学びます。児童は英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。



「現役生の場合高3の4、12月に、英検やTOEFL、iBT、GTECなど大学入試センターが認定した外部の8試験から2回まで受験できます。試験は、この6段階の評価基準が定められていて、同センターを通じて、現役生は物理的に不可能な受験をすることもできます。」
河崎 駿中では英語の長い文章を、時間を定めて短時間で読解する演習を通して、速読力を付けています。
鹿山 駿中では英語の長い文章を、時間を定めて短時間で読解する演習を通して、速読力を付けています。



「スピーチ教諭の授業内容は、アンダービル 駿小では「とにかく楽しく」ということを意識しています。児童がハロウィンやクリスマスなど英語圏の文化に触れながら、英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」
マギル 駿高では「話す」「書く」の力を伸ばすため、授業に英語を積極的に取り入れ、児童が英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」

「スピーチ教諭の授業内容は、アンダービル 小中高の各段階のレベルに合わせ、英語力向上が期待できる英語のアニメや映画のDVDをそろえ、放課後に毎日のように来て、楽しんでいる児童もいます。中学生はより実践的に英語検定の2次試験やスピーチコンテストの練習に訪れています。」
マギル 駿高生は昼休み、放課後にスピーチコンテストや英語の練習に訪れています。校外では学んだ英語を話せる機会がなかなかありませんので、楽しみながら知識の定着を図れると思います。
長澤 6年生の希望者は、清里の学園施設で2泊3日の「英語キャンプ」に参加し、米国の大学生と英語で交流します。限られた時間ですが、3日間だけでも英語漬けの生活を送ることで、これがかぎって英語が好きになったり、外国に興味を持ちたりする児童もいます。

「スピーチ教諭の授業内容は、アンダービル 駿小では「とにかく楽しく」ということを意識しています。児童がハロウィンやクリスマスなど英語圏の文化に触れながら、英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」
マギル 駿高では「話す」「書く」の力を伸ばすため、授業に英語を積極的に取り入れ、児童が英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」



「スピーチ教諭の授業内容は、アンダービル 駿小では「とにかく楽しく」ということを意識しています。児童がハロウィンやクリスマスなど英語圏の文化に触れながら、英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」
マギル 駿高では「話す」「書く」の力を伸ばすため、授業に英語を積極的に取り入れ、児童が英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」



駿台教育研究所 事業推進部次長 渡辺正彦氏

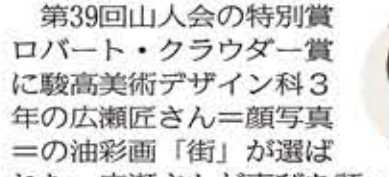
学習環境、授業がより重要に

「2021年度入試から、大規模な試験では評価ができていない『話す』技能（スピーキング）も評価するということが大きなポイントとなります。英語の評価法はどのように変わるのですか。」
渡辺 「2021年度入試からは、大学入試センターが作成する英語の試験に加え、『読む・書く』の4技能をすべて評価するため、英語の民間試験を一人の『話す』力を見極めるのに活用することになります。特に、現状では物理的に不可能な受験をすることもできます。」

「現役生の場合高3の4、12月に、英検やTOEFL、iBT、GTECなど大学入試センターが認定した外部の8試験から2回まで受験できます。試験は、この6段階の評価基準が定められていて、同センターを通じて、現役生は物理的に不可能な受験をすることもできます。」

「スピーチ教諭の授業内容は、アンダービル 駿小では「とにかく楽しく」ということを意識しています。児童がハロウィンやクリスマスなど英語圏の文化に触れながら、英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」

ロバート・クラウダー賞を受賞 美テ科3年・広瀬さん



「山梨日日新聞紙上で受賞を知り、ただただ驚きました」と笑顔を見せる。作品は自身の頭の中にイメージとして湧き上がってきた街を描いた。「雨をためた道路が、街の景色を映し出しているところやビルの窓の光がうまく表現できました。遠景の橋をぼかして描くことで、作品に遠近感が出せました」。絵が好き
〈企画・制作/山梨日日新聞社広告局〉

21年度入試から「話す」技能が評価対象

「スピーチ教諭の授業内容は、アンダービル 駿小では「とにかく楽しく」ということを意識しています。児童がハロウィンやクリスマスなど英語圏の文化に触れながら、英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」

「話す」技能がより重要に

「スピーチ教諭の授業内容は、アンダービル 駿小では「とにかく楽しく」ということを意識しています。児童がハロウィンやクリスマスなど英語圏の文化に触れながら、英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」

「スピーチ教諭の授業内容は、アンダービル 駿小では「とにかく楽しく」ということを意識しています。児童がハロウィンやクリスマスなど英語圏の文化に触れながら、英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」

「スピーチ教諭の授業内容は、アンダービル 駿小では「とにかく楽しく」ということを意識しています。児童がハロウィンやクリスマスなど英語圏の文化に触れながら、英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」

「スピーチ教諭の授業内容は、アンダービル 駿小では「とにかく楽しく」ということを意識しています。児童がハロウィンやクリスマスなど英語圏の文化に触れながら、英語を話してみようという姿勢が芽生えてくる気がします。英検や私が読み上げる英文を聞いて、書き取るミニテストをして理解を深めています。」

駿台甲府高等学校 普通科 TEL 055-253-6211
駿台甲府高等学校 美術デザイン科 TEL 055-241-5311

駿台甲府小学校 TEL 055-244-0411
駿台甲府中学校 TEL 055-243-5200

一般入試出願始まる!!
[出願期間] ~ 11月29日(木) [試験日] 12月1日(土)

専願入試出願始まる!
[出願期間] 11月30日(金)~12月7日(金) [試験日] 2019年1月12日(土)

通信制高校があります
各自の希望で学習形態が選べます

12月19日(水)~12月24日(月)
美術デザイン科展 (県立美術館 県民ギャラリーA・B)